# あけましておめでとうございます

小須戸町長　**轡田奈賀雄**

## 健全財政の確保に努め
## 活力ある明るい町づくりを

昭和六十三年、辰年の新春を迎え、町民の皆さんの一人ひとりが益々健康で良い年になることを心からお祈り申しあげます。

過ぎた昭和六十二年を振り返ってみますと、まず第一に、二月一日任期満了に伴う町長選挙に皆様方のご協力、ご支援により再選の栄を得、豊かで住みよい活力ある小須戸の町づくりに取り組むことができたことであります。

当町の財政は、昭和六十年度からの国庫補助負担率の引き下げ措置等の影響により、大量の町債の発行を余儀なくされ、昭和六十二年度末の町債残高見込みは、二五億九千万円にものぼるなど極めて厳しい財政環境に置かれています。

昭和六十三年度の当町の財政の見通しについては、来年度の経済見通しをはじめ、国、県の予算編成の動向、地方財政計画の内容等が明らかでないため、現時点では的確に予測することは困難であるが、歳入面では、国庫補助率の引き下げの継続、これに伴う町債の大量発行が避けられず、また、景気は回復基調にあるものの、税制改革は減税先行となっており、町税、及び地方交付税も大幅な伸びは期待できないところであります。

一方歳出面においては、人件費、公債費等の義務的経費は着実に増加するほか、内需拡大の要請への対応、更には下水道会計、老人保健特別会計への助成をかかえ、財政事情は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況において、昭和六十三年度当初予算の編成は、従来から進めてきた行財政改革を着実に推進し、健全財政の確保に努めることを基本とし、歳入の確保に取り組むとともに、事務事業の全般的見直しに加え、更に既存の制度、施策の見直し、及び優先順位の厳しい選択により歳出の抑制を図りながら、地域経済活性化対策など社会経済情勢の推移に即応した真に必要な施策への重点的、効率的配分に積極的に努めるとともに、内需拡大の要請に応え、社会資本の積極的整備に努めることを方針として編成します。

また、昭和六十三年の計画事業は小須戸町総合計画第二次後期五ヶ年の基本計画に基づき、主要なものは概ね次のとおりであります。

**一、新規事業**

- 大規模開発事業（住宅、企業団地）
- 都市計画街路事業（北浦線）
- 山の手屋内運動施設等の整備
- 地域小規模事業活性化推進事業（むらおこし事業）
- 林道舗装事業

**二、公共事業の継続**

- 農村総合整備モデル事業
- 下水道事業
- 県営一般農道、農免道路整備事業
- 主要地方道白根安田線の改良事業、及び交通安全施設整備事業
- 国道四〇三号線バイパス事業
- 国道四〇三号線防雪施設整備事業
- 急傾斜地崩壊防止事業

小須戸町議会議長

**栗原久平**

## 厳しさをのりこえ
## 町おこしをめざし
## 研讃と努力を

町民の皆様、謹んで新年のお慶びを申しあげます。

苦難な一年をのりこえ、新しい年を迎えられた皆様に心から敬意を表するとともに、議会にお寄せ頂いたご支援に深く感謝を申しあげます。

昨年、改選後の議会も、広報こすど六月号、並びに議会だよりでご案内のとおり、議員各位もそれぞれの部署において、町民の負託に応えるべく、尽力されてきたところであります。

ご承知のように議会は執行機関と異なり、民意反映が主な機関であり、そのため事業計画や予算を伴う案件について、個々の議員には全くと言っていい程、権能が与えられておらず、従って町民からみた場合、歯がゆく感じておられることと推測いたしております。

しかしながら、個々の議員の意見といえども、それが議会としての決定が為されれば、長をも動かすことも可能なのであります。

その意味で、より多くの町民の声が個々の議員を通して議会全体の意思になっていくかどうかが、今後の町政の方向を決定づける大きな要因となっていくものと思考いたします。

**三、水田農業確立対策の推進**

ポスト三期の水田農業確立対策二年目を迎え、農業も益々厳しい状態になっていることは、新聞、テレビ等でご承知のことと思います。六十二年度には生産者農家をはじめ、農協の絶大なるご理解ご協力により、転作実施面積は目標面積を上廻り、一〇三%の成績をあげていただき、集団化も約三二ヘクタールの実施できましたことについては心から感謝申しあげるところであります。六十三年度については確定しておりませんが年内には決まると思います。農家、農協、町が一体となって推進し、目標を達成したいと念願するものであります。

**四、町制施行百周年記念事業について**

本町は、明治二十二年四月一日町制を施行し、六十周年記念式典を昭和二十五年、八十周年記念式典を昭和四十五年、九十周年記念式典を昭和五十五年に執行しております。それにならい、百周年記念式典は昭和六十五年とし、町民総参加で英知を出しあい、創意工夫して意義ある式典としたいものであります。町民の皆さんもこのことを意識され、来る二十一世紀へ向けての小須戸町の飛躍の節目の年となるよう取り組みたいと思います。

町民各位のご理解、ご協力をお願い申しあげる次第であります。

以上、所信の一端を申しあげ併せて皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

左右されがちでありますが、議会としては地方自治の本旨を踏まえ、法に基づいて意見書を、問題ごとに政府に対して上申を行なってきたところであります。

世界の政治経済の影響を受け、町民の生計も、町の行政も、ますます厳しくなっていくものと予想されます。議会は知恵を出しあい、力を合わせて町民のため、町のため努力いたしたい所存でおりますので皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申しあげます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申しあげ、年頭のご挨拶といたします。